NPO かとり　だより

令和７年度　第１号
令和７年　７月発行

発行／NPO 法人香取の地域福祉を考える会　理事長　中塚　博勝
〒289-0332 香取市南原地新田 459 番地　TEL0478-83-0566
E-mail　honbu@npokatori.jp　URL http://www.npokatori.jp/
就労支援事業所ワークおみがわ
〒289-0332 香取市南原地新田 459
TEL/FAX　0478-83-8005　E-mail　w-omigawa@npokatori

「令和６年度の事業を終えて」

理事長　　中塚博勝

皆様の多大なご支援に支えられて令和６年度法人事業は所期の目的を達成して終えられました事を感謝と共にご報告申し上げます。

事業の詳細並びに事業会計収支決算報告は理事会及び総会資料としてご報告・ご承認頂いている通りです。

就労支援事業所ワークおみがわで実施している、就労継続支援Ｂ型事業は「利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことが出来るよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通して」とあるように、日々支援しています。この条文に謳われている「社会生活を営むことが出来るように」に応えるように、日常の室内作業に止まらず、公園除草作業、支所除草作業、トイレ清掃業務、農作業の一端を担う活動等々に携わることを通して、地域の中での体験を重ねる機会を設ける工夫をしています。

一方、事業所が持つ機能を地域に提供する「地域生活支援拠点協力事業所」として地域のニーズに応える体制を整えています。

どうぞ皆様方におかれましては、ワークおみがわの活動に、又ＮＰＯ法人香取の地域福祉を考える会の活動に暖かい関心をお寄せ頂きご支援賜りますようお願い申し上げます。

◎会　員　募　集　◎

ＮＰＯ法人香取の地域福祉を考える会ではさまざまな福祉活動を行うため、多くの会員を募集しております。是非お知り合いの方々をお誘いくださいますようお願いいたします。

会費納入につきましては、振込用紙(手数料不要)を用意しております。下記の表をご参考に、通信欄のお振込み内容を必ずご記入願います。振込用紙の請求は法人事務局までご連絡下さい。

０４７８－８３－０５６６　担当　鈴木

正会員	年額	１，０００円	総会の議決権を有します
賛助会員	年額	１口　１，０００円(１口以上)	総会の議決権を有しません
寄付			総会の議決権を有しません

～第三者委員さんに評価していただいています～

ワークおみがわでは、地域の方に第三者委員を委嘱し、事業所の評価をお願いしています。令和6年度における第三者委員による事業所評価について、以下のとおりご報告いたします。

第三者委員の人数	2名（男性1名、女性1名）
活動期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
活動回数	9回
活動内容	事業所からの活動報告聴取 利用者からの意見聴取 事業所活動状況の確認　など
利用者からの意見聴取内容と感想 	〈利用者の個人的なことについて〉 ・ゲームをする人は減っているが、ユーチューブをみている利用者が多くなっている。 ・夜は比較的早く寝て、朝は早く起きており、健全な生活を送っている様子が窺えた。 ・家での手伝いは様々ですが、何らかの手伝いをしているようで、家庭での情操教育がなされている感じを受けました。 ・面談した利用者全員が、事業所へ行く時に辛いと思ったことはないと言っており、事業所に通うことが楽しいと言っている利用者もいました。⇒利用者が楽しく過ごせるよう気配りをしている事業所側の努力の賜物と思います。 ・通所手段として循環バス等公共交通機関を使う利用者がいますが、路線の廃止等により影響が出ています。 ・自転車で通所する人もいますが、荒天時は大変です。事故のないよう注意していただきたい。 ・家族の高齢化により送迎が困難になると思われることが今後の課題です。 〈人間関係について〉 ・全員から「意地悪な人はいない」、「優しい」という発言があり、人間関係は良好です。ただし、新規の利用者は利用して日が浅いためか、まだ親しい仲間は作れていないようです。 〈職員関係について〉 ・全員が職員は優しいと言っており、利用者評価は高い。 〈仕事に関することについて〉 ・利用者の皆さんそれぞれに好きな仕事があり、苦手な作業はないという意見が多かったが、スプリングハンガーの仕事については評価が分かれた。 ・仕事で嫌だなと思ったことはないという利用者が多く、事業所側の利用者の技能に応じた仕事の割り振りがうまく機能しているようです。 ・外での仕事は全員が楽しいと言っており、気分転換になっているものと思われます。外の仕事を増やすべく努力していると伺っており期待したい。 ・刈り取った草の除去作業が重かったという感想があったが、しんどいとか嫌だという意見はなかった。注意をしながら見守っていただきたい。 次ページへ⇒

	⇒前ページより 〈事業所に関することについて〉 ・事業所に来ることは楽しいという利用者がおり、事業所で困っていること、要望事項等については全員特にないという回答で、事業所運営について満足している様子です。 〈まとめ〉 ① 利用者間での諍いはなく、職員との関係も問題なく、人間関係は良好のようです。 ② 仕事に関しては、事業所側のご努力により、一部を除いて苦手意識もなく楽しく作業している様子が窺えます。 ③ 事業所に関しては、問題点の指摘はなく、また改善事項もなく満足しているようです。 ④ 利用者の皆さんは、事業所での生活を楽しみ、また満足している様子が窺えました。
第三者委員からの意見・提案 	〈外部作業の請負について〉 新たに外部作業として、野菜の出荷準備作業や支所の除草作業の契約がとれたことは素晴らしいことです。季節性のある仕事で連続しては難しいものの、工賃が高く就労に向けての訓練につながり、また利用者のストレス解消にもつながるので、今後も契約をとれるようご努力いただきたい。 〈外出行事について〉 外食・買い物等の外出行事や、好きな料理の選択制度は職員にとっては準備や当日のフォロー等が大きな負担となりますが、利用者に大好評であり、今後も機会を作り実行していただきたい。 〈利用者の募集〉 事業所での練度向上により事業所を出ていく利用者がおり、事業所の運営上補充は喫緊の課題です。今後もご努力お願いします。 〈作業の手伝い〉 コロナ対策で作業の手伝いは中止していましたが、そろそろ再開してもいい環境になってきていると思います。利用者との交流を深めるために再開を検討していただきたい。
活動を通しての総括	① 今回面談した利用者のうち、利用開始して間もない時期に面談した人もいましたが、そういった人はまだ完全に事業所の雰囲気等に溶け込めていないものの、「みんな優しい」、「職員も優しい」、「仕事は大丈夫」という意見が多く、事業所での生活を楽しんでいるように見受けられました。 ② 利用者の皆さん、朝事業所に来るのに厭だと思ったことがなく、来るのが楽しいという利用者もおり、またいろんな外出行事や食事会は好評で、事業所は順調にかつ良好に運営されていました。 私たちは、利用者の皆さんが、楽しく、充実した日々が送れるよう事業所内の生活に目配りし、皆さんの声に耳を傾け、また声かけしていきたいと思います。

以上、令和6年度第三者委員の評価報告といたします。

なお、令和7年度においても、前年度同様に第三者委員を2名（男性・女性1名づつ）配置し、事業所の運営状況や利用者支援状況等の助言や評価を依頼しています。

就労支援事業所 ワークおみがわ

〈活　動　報　告〉

≪令和７年１月から６月までの活動について報告します≫

１月　仕事始め（６日）　新年外出行事（７日）　香取市シェイクアウト訓練参加（１７日）
　　第三者委員定期訪問（２０日）
２月　節分後日祭（３日）　誕生会（１４日）
３月　年度末外出行事（７日）　第三者委員定期訪問（１０日）　洪水時避難訓練（２５日）
４月　年度初め食事会（１日）　第三者委員定期訪問（１４日）
５月　端午の節句を祝う会（２日）　北総育成園職員見学（２０日）
　　保護者会・地域生活支援拠点事業説明会（２３日）　誕生会（３０日）
６月　外出行事（２４日）

〈活動報告から①〉

令和５年度に続き６年度も、千葉県障害者就労事業振興センター・千葉県農林水産部担い手支援課・千葉県香取農業事務所にご協力いただき、農福連携事業を実施しました。今回は、多古町の農家さんより、じゃがいものたねいもカット作業の依頼があり実施しました。包丁を使い、たねいもを決められた切り方で３等分にするというものでした。普段から包丁を使っている利用者に仕事を依頼。切り方を教えると、上手に切ることができていました。この仕事を１か月ほど取り組んだ後、同じ農家さんからニンジンの選別・袋詰め・ラベル貼り作業の依頼もあったので実施しました。通年で行なう内職作業のほか、夏場は香取市からの除草業務、冬場に農福連携による業務を行なうことで利用者の社会参加の促進のほか、工賃向上にも努めいきたいと思います。

〈活動報告から②〉

５月２３日に保護者会を開催しました。前半では、第三者委員による活動報告や事業所の事業報告及び事業計画等について話を行ない、後半は地域生活支援拠点事業について、社会福祉法人ロザリオの聖母会香取障害者支援センター、香取市障害者支援班に来てもらい話をしてもらいました。地域生活支援拠点事業を活用し、親亡き後の利用者の生活について、今から考えていくことが必要ということで、７月にＧＨの見学会を実施し、利用者・保護者にまずはＧＨがどういうところかについて見てもらう時間を設けることになりました。利用者がこの先も安心して住み慣れた地域で生活することができるよう、事業所としても微力ながら取り組んでいければと考えています。